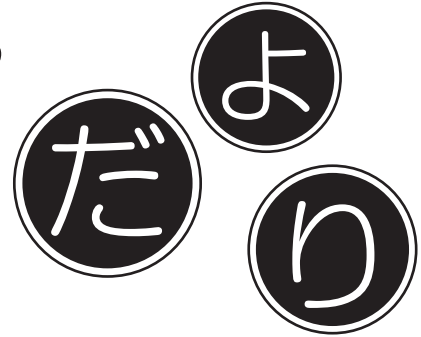




MATSUE CITY COUNCIL  
NEWS LETTER

# 市議会



よもつ ひ らさか 「黄泉比良坂の神話」を遊具のデザインテーマにした東出雲町の中海・YOU遊公園 ゆう ゆう

## まち歩きで、発見・創造

映画

2010年作品

### 瞬 またたき

で東出雲町ロケ

北川景子 (出演)  
岡田将生

## 2月定例会

平成24年2月24日～3月26日

## 予算総額約1,740億円の平成24年度 予算及び条例36件等を審議 原案可決

2月定例会では条例案件36件のほか、予算案件35件等合計115件を審議し、全て原案可決しました。このうち予算案は提案された総額約1,740億円（一般会計約971億円、13特別会計約549億円、5企業会計約219億円）について、予算特別委員会（議長を除く議員全員）を設け、予算特別委員会で総括質疑の後、分科会（総務・教育民生・経済・建設環境の各常任委員会が分科会）において審査しました。各分科会では活発な質疑、意見が交わされました。予算特別委員会での総括質疑について、主なものを報告します。

### 予算特別委員会総括質疑

扶助費が200億円を超える状況であるが、住みやすさ日本一を掲げる市長は、どこまで市民サービスを広げるつもりか。

**回答** 生活保護費が前年比13%、額にして4億9,000万円増加し43億円になったことが主な要因であり、子ども医療費の助成や、保育料の軽減が扶助費増加の原因とは考えていない。子育て環境の充実が人口減少の歯止め、雇用拡大には大事だと考えている。サービスをどこまで行うかについては、データなどの分析等をみながら検討していきたい。

国の地方財政計画では地域経済基盤の強化、雇用等の対策として1兆5,000億円充てられている。こうしたことに沿って予算化されているのか。

**回答** メニューの主旨にのっとりながら編成したところであり、具体的な例では、中小企業が優れた技術者を招へいするための補助金、設備貸与に関する保証料の助成、高齢者の生活支援として、70歳以上のバス利用料金の半額割引等々がある。

子育て政策が充実しても、働き場がなく生活が苦しければ住みよい町にならない。雇用予算は前年比7%減少し、産業対策も減少している。雇用対策はまだ必要と考えるが。

**回答** 全体の雇用については回復基調にあると考えているが、産業別に見ると、卸小売、建設業、製造業では17%～31%の減となっている。国の経済対策や雇用対策を期待するが、市独自でも産業振興策、企業誘致に積極的に取り組んでいく考えである。

原発交付金の人件費に充当される金額は総額いくらか。また全体に占める割合と人件費充当に対する今後の考え方は。

**回答** 電源立地地域対策交付金の予算総額25億4,204万3,000円のうち人件費への充当は6億7,812万4,000円であり26.7%となっている。人件費の充当については平成20年度には37%あったがここ数年は20%台にとどめている。今後も抑制していきたい。

予算編成方針について、自治体によっては予算総額を割り振って、部の責任で編成していくという折衝もあり、松江市のやり方は危機感を共有する意味では有効だと思うが。

**回答** 予算編成方針については、一律にシーリングをかける手法をとっていたが、経常経費の削減は非常に難しくなってきた。シーリング枠をかけるだけでは限界があると認識している。今年度は総額全体を抑えながら各部に配分し、配分方法そのものが予算編成の工夫を各部局に促すことになったと考えており、経常経費も含めた効率化が図られたと認識している。

平成22年度の決算における議会議員・監査意見を24年度予算にどのように反映したのか。

**回答** 監査意見であった徹底した財政の健全化については、地方債残高の軽減に向け繰上げ償還を4億円計上していること、各種施設のあり方について存続、統合、廃止など方向性を出していく。決算特別委員会で指摘された、一般会計、特別会計の健全化、投資的経費の一定確保、未活用資産対策などについて予算編成にあたり反映させているところである。

市政のここが聞きたい 17人の議員が質問

## 2月定例会 一般質問

2月定例会では、2月29日から3月2日までの3日間にわたり一般質問を行いました。  
質問をした議員本人が通告した項目の中から一つ選び、要旨をまとめたものを掲載しています。



みしま すすむ  
**三島 進** (松政クラブ)

- ・ 財政問題について
- ・ 観光振興策について
- ・ 人口問題について
- ・ 各企業局の状況について
- ・ 地下駐車場について

### 質問 緊縮型の予算に市長の思いは反映されたか

税収など歳入が伸びない中での予算だが、市長の思いが十分に反映できたのか。また特に配慮したものは何か。

### 回答 各世代の生活支援に重点配分

東出雲町と合併し、特例市となり、はじめての予算だが、自主財源である税収の落ち込みにより、交付税で補う予算になっている。来年度予算の特徴は、3世代が暮らす1軒の家に松江市を例えて、土台として安心・安全を据え、その上に定住・雇用対策の強化、そしてポスト400年祭とした。中身はそれぞれの世代ごとに対する支援、特に生活支援に焦点を当て重点配分した。このことは市民の皆様各世代にわかりやすくお示してきたと思っている。



もりわき ゆきよし  
**森脇 幸好** (松政クラブ)

- ・ 安心・安全なまちづくりについて
- ・ 行財政改革について
- ・ 生徒による暴力行為について
- ・ 国民健康保険について

### 質問 原子力災害時における広域的な一時避難計画の進め方は

県内外への避難先地域割り当て案が示されたが、今後の進め方と松江市内のそれぞれ地域ごとの避難計画になるのか。またいつごろ全体計画ができるのか。

### 回答 地域コミュニティーを持った単位で割り当てるのが重要

具体的にどの市町村にどれだけの人数が避難するのか、受け入れは可能なかを協議する。避難の単位としては、地域コミュニティーを持った単位で避難先を割り当てるのが重要。全体計画は時間を要するが、暫定的な避難計画を今年秋に策定していきたい。



しの はら さかえ  
**篠原 栄** (公明クラブ)

- ・ 23年度の市政を振り返って
- ・ 24年度施政方針から
- ・ 原発問題
- ・ 介護保険
- ・ 国民健康保険
- ・ 教育委員会関係

### 質問 保険料上昇率の抑制と24年度導入の被保険者利便性向上の内容は

収入が減る中での国保料の値上げです。借り入れをするなどの工夫をして、今回提示された16.4%アップを適切に抑えていただきたい。また24年度は、被保険者にとって利便性を向上する制度の導入について、その内容をお聞かせください。

### 回答 保険料は直近の結果を見て判断

国保運営協議会で、平準化して緩やかに引き上げをとの意見もあり、直近の財政推計の結果を見て最終判断をします。来年度の制度改正の主なものは、被保険者証の個人カード化、コンビニ収納の導入、高額医療費に関して、入院だけでなく外来の受診者に対しても限度額認定書の発行を行います。



もりもと ひでとし  
**森本 秀歳** (市民クラブ)

- ・ 合併の検証について
- ・ 事業見直し対象の歴史資料館等の活用方法について
- ・ 旧八束郡の支所・公民館のあり方について
- ・ 産業振興について

### 質問 支所・公民館のあり方は、市全域での様々な意見、実状を踏まえ進めるべき

支所については、行政が遠のくことに不安を感じる声が多くあり、公民館については、運営形態に違いがあり、画一的な考え方で進めて良いのか疑問に感じる。強引な進め方は住民の理解は得られない。

### 回答 丁寧に対応をしていく

地域協議会で示した支所・公民館のあり方については、あくまでもたたき台である。公民館について、地域のことはできるだけ地域が主体になって考え、実行し、行政が支援を行う形でないと持続性が出てこない。自主運営方式を確立するため、他公民館との交流等を活発に行っていただきたい。その公民館を主体とし、支所機能と一体化させた新しい拠点をつくることになるが、現在、地域協議会をはじめ関係の方々考え方を示し意見交換を行っている。





いいつか ていこ  
**飯塚 梯子** (共産党議員団)

- ・「税と社会保障の一体改革」について
- ・島根原発について
- ・国保料値上げ計画について

**質問 国保保険料値上げ計画の中止を**

平成24年度松江市国保料は、前年比16.43%、一人当たり年平均1万3,338円の値上げ計画です。すでに一人当たり年平均8万1,180円の保険料になっており、介護保険料も24年度は21%の引き上げ、介護納付金も毎年の引き上げで、個人の努力で節約できない租税公課、公共料金の値上げです。国保運営協議会では16.43%もの値上げ案に異論が相次ぎ、一般会計の対応など求める意見が出されました。市民にとってこれ以上の負担増は限界ではありませんか。一般会計からの繰り入れを行い、保険料値上げ計画は中止を求めます。

**回答 保険料の改定で対応したい**

一般会計からの繰り入れをやるべき、ということですが、直近の財政推計に基づいて、最後の改定案を決定していきたいと思っています。



たなか ひろみつ  
**田中 弘光** (松政クラブ)

- ・都市計画法による線引きに関する諸問題について
- ・農業問題：集落営農体制の整備促進について
- ・旧合併町村の文書類の保管管理について
- ・校庭芝生化に伴う維持管理について

**質問 都市計画法の線引き諸問題を問う**

松江圏都市計画を定めて42年が経過したが、その間、線引き制度がもたらした功罪と、廃止しようとする場合、市街地や調整区域の問題点を問う。

**回答 線引き廃止には都市計画税等が問題**

都市計画区域に指定している土地のうち、81.3%が市街化調整区域である。これまで規制緩和により調整区域内で441件の開発許可を行った。この制度により、下水道や区画整理事業等が進み、調整区域の乱開発の防止等ができた。反面、調整区域内の集落の衰退の要因ともなったが、制度を廃止しても、他県の事例等から見て、地価の大きな変動は起きないと思う。優良農地は農地法と農振法により守られる。市内部に検討組織を立ち上げたが、都市計画税11億円が賦課できなくなるのが大きな問題である。



よし かね たかし  
**吉 金 隆** (松政クラブ)

- ・竹島問題について
- ・中海宍道湖市長会について
- ・原子力発電について

**質問 竹島啓発のために**

北方領土返還を求めた事業の中に、地元の食材による給食サービスが行われている。竹島の領土権の早期確立のため、2月22日の竹島の日にその重要性を語り、地元の食材を食す同じような事業ができないか。また、まち歩き観光の中で紹介されている旧博物館が竹島資料室として利用されていることを表示できないか。

**隠岐周辺の食材による学校給食・旧博物館**

**回答 に竹島資料室**

通常も隠岐の食材を取り入れているが、竹島の日の前後にはそのような努力をしたい。まち歩き観光はコースの見直しをしているので、この建物をコースに入れる際には、竹島資料室と表記を加えたい。



はたお こうせい  
**畑尾 幸生** (市民クラブ)

- ・地方自治体首長をめぐる最近の動向と市長の政治姿勢について
- ・自治体の長と教育行政との関係等について
- ・荒れる学校・子どもの問題について
- ・後発業の利用促進について

**質問 自治体の長と教育委員会の関係はどうか**

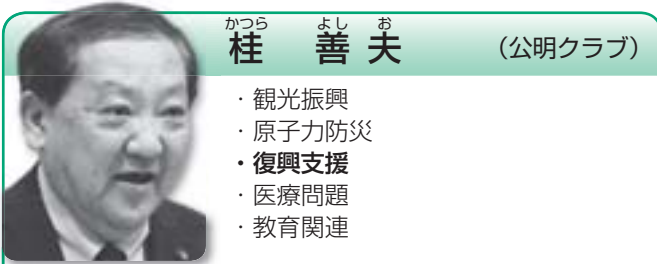
大阪府・市では教育基本条例をめぐって議論がなされているが、地方自治体の長と教育委員会の関係についてどのように考えているか。



**首長の思いを教育委員会に実際にやってい**

**回答 ただくよう連携していきたい**

市長選挙では、有権者の方の思いの半分ぐらいが教育問題である。マニフェストでも教育問題について掲げているが、これを実現しようとする権限がないというジレンマがある。実際は教育長、教育委員会と協議して解決していくことになるが、いずれにしても首長の思い、願いが実際に教育委員会に届き、それが実施されるように連携していきたい。



かつら よしお 桂 善夫 (公明クラブ)

- ・観光振興
- ・原子力防災
- ・復興支援
- ・医療問題
- ・教育関連

**震災被災地のがれき広域処理に対する**

**質問 考えは**

東日本大震災から一年が経つが、被災した沿岸部では、大津波によって発生した大量のがれき処理が復興の妨げとなっている。岩手、宮城、福島の子三県の震災がれきは、推計2,252万トン、このうち処理がすんだのは2月20日時点で5%にとどまり、処理が進んでいない。協力に応じているのは東京都、山形、青森県である。島根県また松江市も被災地復興のためにがれき受け入れの検討をしてはどうか。

**回答 汚染されたがれきの受け入れは困難**

被災地のがれき処理は、関係の法律が昨年8月に成立してそのガイドラインが示され、処理基準では8,000ベクレル以下の廃棄物は安全となっているが、この基準も何度も変更され国からは十分な説明もない状況であり、市民の安心・安全を確保するため、汚染されたがれきの受け入れは困難と考える。



さいとう きくいち 斎藤 菊市 (友愛クラブ)

- ・政治姿勢
- ・行政改革
- ・産業振興



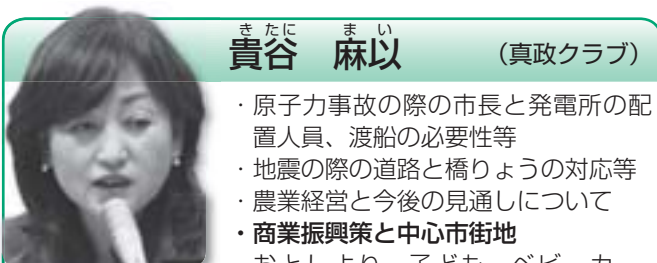
**質問 雇用奨励金の状況と今後の制度継続は**

企業が優秀な人材を確保するために、雇用奨励金制度を導入しているが、給付実績と次年度以降の制度継続をどのように考えているか。また、県や経済団体と連携した人材育成に取り組む考えはないか。

**卒後3年以内まで拡大、人材育成を積極的**

**回答 に支援**

雇用奨励金を支給した実績は60社139人であり、同じ企業が21年22年に雇用した実績に比べると、当該企業の新卒者雇用は2倍以上増えている。次年度以降も制度継続し、対象者を卒後3年以内の者まで拡大する。また、企業で創造性豊かな人材育成をすることは不可欠であり、商工会議所・商工会・しまね産業振興財団などと連携しながら、人材育成の研修を積極的に支援していく。



きたに まい 貴谷 麻以 (真政クラブ)

- ・原子力事故の際の市長と発電所の配置人員、渡船の必要性等
- ・地震の際の道路と橋りょうの対応等
- ・農業経営と今後の見通しについて
- ・商業振興策と中心市街地
- ・おとしより、子ども、ベビーカー、観光客にも必要な施設作り（トイレ、スロープ、エレベーター）

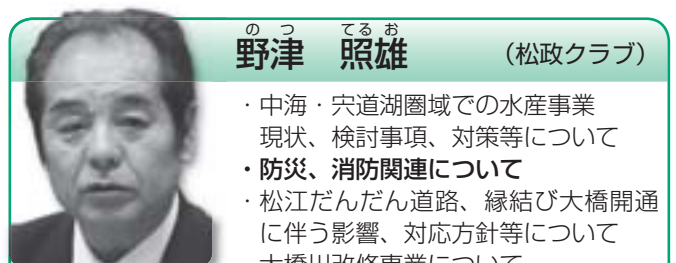
**商業の振興策、中心市街地活性化と古事記**

**質問 1300年の連携は**

古代悠久の長い歴史と文化をもつ開府400年の本市は弁慶の幼児期の足跡が残る本庄など宝物の枚挙にはいとまがない。この素晴らしい文化と観光、購買、商業、商店街とをどうつなげるのか。古事記編さん1300年の意識が薄いようだが、女性にとって観光とショッピングはイコールである。単発イベントではなく通年型に、また今あるものを大切にすべきでは。

**回答 観光客にまち歩きを進める取り組みと出雲大社周辺にも出かけ誘客をPRする**

松江城から歴史館、商店街のまち歩きを楽しんでもらうとか、地産地消メニュー開発、一店逸品運動、個店の改善、チケット制等商店街の取り組みを支援する。全国大会も多いが、商店街にも実行委員会に最初から入っていただくとか、共に盛り上げていきたい。



のつ てるお 野津 照雄 (松政クラブ)

- ・中海・宍道湖圏域での水産事業現状、検討事項、対策等について
- ・防災、消防関連について
- ・松江だんだん道路、縁結び大橋開通に伴う影響、対応方針等について
- ・大橋川改修事業について
- ・ホーランエンヤ伝承館について
- ・尾道市との姉妹都市締結について
- ・水道事業について

**質問 消防分団員の活動服支給はどうなったか**

消防団（分団）団員の活動服の貸与については、平成22年度から年次計画にて対処するとのことだったが、結果、状況は。

**2年計画で防寒服を全団員貸与、その後に**

**回答 活動服貸与を計画**

東出雲町との合併により、東出雲町の団員に制服を貸与したためと、先般の大雪災害の対処等を鑑み、平成24年度より2年間にて全団員に防寒服を貸与する計画にした。その後に、活動服の貸与を実施する。なお、団員の皆様の活動服に不具合があった場合は、分団長経由で連絡いただければ、できる範囲で対応する。

\*会議録は松江市議会ホームページ (<http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/eturan/gikai-12.html>) でご覧いただくことができます。



**津森 良治** (市民クラブ)

- ・ 原発問題について
- ・ 消防団員の待遇について
- ・ コンビニエンスストアの活用について
- ・ 被災地支援について

**質問 復旧から復興へ、今後の支援について伺う**

東日本大震災の発生から1年が経過、復旧から復興に向けて、引き続き職員の派遣などの人的支援を続けていくお考えか。あわせて鳥根県からの要請があれば、がれきの広域処理に協力していく気持ちはあるのか伺う。

**回答 今後も職員派遣を続けていきたい、汚染されたがれき処理については困難**

被災市町村への人的支援は延べ105人派遣、今後も全国市長会を通じての要請もあるので、引き続き支援をしていきたい。がれきの受け入れの要請は、国や県からはないが、本市として市民の安心・安全を確保していくためには、汚染されたがれきを受け入れることは困難である。



**片寄 直行** (共産党議員団)

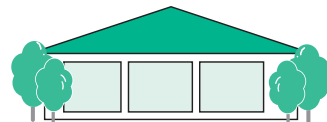
- ・ 市長の政治姿勢
- ・ 原発・エネルギー問題と防災
- ・ 水道問題
- ・ 同和問題とコミュニティー

**質問 例規集「同和対策」表現の削除を**

2002年3月で同和対策の根拠法はなくなり、松江市はその5年後に同和対策事業終了を宣言し、一般対策へ移行した。行政機構の名称も予算費目の名称も「同和」の名称をなくされたが、松江市の例規集第9編第5節のタイトルに同和対策という表現がある。同和対策が終了した今日では違和感がある。この表現は削除、変更すべきではないか。

**回答 近々、見直す予定**

これは、かつての同和対策事業によって設置をした施設の条例、規則等を掲載しているところ。近々、見直す予定にしている。



**野々内 誠** (松政クラブ)

- ・ 尾道市との姉妹縁組における連携と交流について
- ・ 地域振興と支所体制について
- ・ 子育て支援事業について
- ・ 市立小中学校の情報教育について
- ・ 都市計画道路・揖屋馬湯線の早期着工について

**質問 尾道市との姉妹縁組における連携と交流事業の予定は**

東出雲町時代から交流のあった尾道市とは姉妹都市となった。今後の交流の事業予定は何か。ものづくりの振興に寄与する連携の考えはあるか。そして、子どもサッカー交流など、東出雲町が行っていた交流事業はどうなるのか伺う。

**回答 幅広い分野において市民主体の交流連携を進める**

新年度の交流は、災害時の応援や平常時の情報交換の協議をはじめ、尾道みなと祭にはホーランエンヤを披露予定だ。ものづくりの振興の交流連携は販路の新規開拓先、企業連携先として非常に有望だと考えており、今後経済界と一緒に取り組む。子どもサッカー交流は、新年度は松江市で開催する予定であり、東出雲町の諸取り組みを継承する。



**宅野 賢治** (友愛クラブ)

- ・ 交通ICカードシステム導入による地域づくり推進について
- ・ 教育委員会制度の改革等について
- ・ 松江市の道路構造条例制定と将来の松江市道路づくりビジョンについて

**質問 教育委員会制度の課題と組織改革改善充実のお考えは**

松江市教育委員会制度の改革について、教育委員会制度の検討すべき課題や今後松江市教育委員会組織の改革あるいは改善充実を推し進めていくお考えを市長はお持ちであるのか伺う。

**回答 教育委員会組織のあり方、市長部局との組織のあり方を検討したい**

公民館の問題では地域防災や福祉、まちづくり等の拠点と役割が加わり、スポーツ関係も健康づくりと絡めて進めていこうという動きなどある。文化財は資料館の利用促進を今の時代にどう反映していくかなど課題もある。一方、教育現場では、特別支援教育、不登校問題もあり、このあたりで一度教育委員会組織のあり方、もちろん市長部局との組織のあり方を踏まえて検討したい。





なんば いわお  
**南波 巖** (真政クラブ)

- ・市の将来構想を含めてのまちづくりについて
- ・原子力発電所問題について
- ・市町村合併について

**質問 まちづくり将来構想はいかに考えるか**

市議会で意見が分かれるようなまちづくりの課題については、市民有識者、商工会議所、農業等各団体とも十分に議論し方向付けをすべきである。

中心市街地活性化や支所を中心とする地域拠点の振興策はどうか。また東川津の開発は総合的な視点での市のランドデザインを描きルール改正を含め審議をすることが重要であるが、いかがか。

線引き制度は百年の大計であり、各論より総論で論ずべきであり、極めて慎重に取り扱う必要があるが。

**回答 グランドデザインを描き検証する**

松江駅から松江城周辺まで散策できる町並みづくりや地域拠点整備方針を策定し整備を推進する。東川津開発は現行制度では実現困難。拠点都市連携型も含めランドデザインの中で検証する。線引き制度は市民、経済界、専門家と議論を尽くし慎重に判断する。

**平成24年6月定例会日程**

月	日	曜日	会議名
6	13	水	本会議（会期の決定・委員長報告・討論・採決・提案説明）
	18	月	本会議（一般質問）
	19	火	本会議（一般質問）
	20	水	本会議（一般質問・議案質疑・委員会付託）
	21	木	総務委員会
	22	金	教育民生委員会
	25	月	経済委員会 建設環境委員会現地視察
	26	火	建設環境委員会
	29	金	本会議（委員長報告・討論・採決） 閉会



**請願・陳情の審議結果**

請願・陳情の審議結果は下表のとおりです

件名	提出者	審議結果
請願第6号 市街化区域と市街化調整区域を定めた松江市の線引き制度を廃止することについて	松江市生馬公民館運営協議会 会長 松尾 知樹	閉会中の <b>継続審査</b> (全員)
請願第7号 市街化区域と市街化調整区域を定めた松江市の線引き制度を廃止することについて	石川 修一	閉会中の <b>継続審査</b> (全員)
請願第8号 市街化区域と市街化調整区域を定めた松江市の線引き制度を廃止することについて	松江市大野公民館運営協議会 会長 加藤 滋夫 外1団体	閉会中の <b>継続審査</b> (全員)
請願第9号 松江市における都市計画法に基づく線引き制度の廃止について	秋鹿振興協議会 会長 田中美知夫	閉会中の <b>継続審査</b> (全員)
請願第10号 公的年金の改悪に反対する意見書提出を求めることについて	全日本年金者組合 島根県本部 執行委員長 中村 照	<b>不採択</b> (賛成少数)
陳情第34号 第五大橋道路開通に伴う松東地域のまちづくりと線引き制度の見直しについて	松江市川津地区自治連合会 会長 久保田明雄 外6団体	閉会中の <b>継続審査</b> (全員)
陳情第35号 第五大橋道路開通に伴う東川津地区のまちづくり事業推進について	松江市東川津地区画整理組合設立準備委員会 会長 小山 昭	<b>採択</b> (賛成多数)
陳情第37号 市街化調整区域廃止について	持田地区自治連合会 会長 小草 通男	閉会中の <b>継続審査</b> (全員)
陳情第38号 市街化区域と市街化調整区域を定めた松江市の線引き制度を廃止することについて	本庄地区町内会連合会 会長 中島 勇夫 外1団体	閉会中の <b>継続審査</b> (全員)
陳情第39号 山本勝太郎議員の社会的・道義的責任について松江市議会としての意思表示を求めることについて	子どもの人権オンブズパーソン 代表 木村衣月子	<b>不採択</b> (賛成少数)
陳情第40号 島根原発をなくし、再生可能エネルギーへの転換を求めることについて	原発ゼロをめざす島根の会 代表 舟木 健治	閉会中の <b>継続審査</b> (全員)
陳情第41号 出雲玉作資料館・鹿島歴史民俗資料館の常時開館展示と活用について	出雲玉作資料館友の会 会長 舟木 尚美 外2団体	閉会中の <b>継続審査</b> (全員)
陳情第42号 国会に対してRSD (CRPS) の難病指定を求める意見書を提出することについて	水野 真実	<b>採択</b> (全員)

# 意見書・決議を可決

件 名		結 果
委員会提出 議案第1号	RSD（反射性交感神経性ジストロフィー）の難病指定を求める意見書について	原案可決 （全員）
議員提出 議案第1号	東日本大震災で発生した災害廃棄物の受け入れに関する決議について	原案可決 （賛成多数）
議員提出 議案第2号	東日本大震災で発生した災害廃棄物の処理に関する意見書について	原案可決 （全員）

- 委員会提出議案第1号は、手足などに激しい持続的な痛みを伴う病気である、RSD（反射性交感神経性ジストロフィー）について難病指定の4要件を満たしており、難病指定について国に意見書を提出するものです。
- 議員提出議案第1号は、東日本大震災で復旧の障害となっている、がれきの処理について、放射線量の測定など十分な体制のもとで情報開示し、安全性が確保された震災がれきの受け入れを表明することを市に要請するものです。
- 議員提出議案第2号は、災害がれきの処理について国の取り扱いの違いがあり、そのことが住民に不安を与え、災害がれきの円滑かつ適切な処理や、被災地以外の地方自治体での受け入れに慎重にならざるを得ない状況を作り出しているため、意見書を提出するものです。



## 写 真 募 集

# まつえ市議会だより表紙写真

### テーマ

## まち歩きで、発見・創造

### 締 切

平成24年 9月1日号分 ▶ 平成24年 6月22日(金)  
 (2012年) 12月1日号分 ▶ 9月28日(金)  
 平成25年 3月1日号分 ▶ 12月21日(金)  
 (2013年) 6月1日号分 ▶ 平成25年 3月15日(金)

### 応募方法

郵便番号、住所、氏名、電話番号、掲載希望号、写真の撮影場所、撮影年月日、写真の説明（タイトル等）を記入のうえ、メールあるいは郵送（LL版プリント）にて、松江市議会事務局（議会広報等特別委員会）までお送りください。

### その他

カラー。未発表のものに限ります。被写体が人物の場合は、「まつえ市議会だより」掲載について本人（未成年者の場合は親権者）の同意が必要です。作品は返却いたしませんのでご了承ください。採用の発表は紙面にて行います。採用者には粗品を呈いたします。

### 紙面への掲載事項

写真の撮影場所（またはタイトル）、氏名、住所（町名のみ）

### 送付先

松江市議会事務局（議会広報等特別委員会）  
 〒690-8540 松江市末次町86番地  
 メールアドレス: giji@city.matsue.lg.jp  
 電 話: (0852)55-5433

## 皆様のご意見をお寄せください

〒690-8540 松江市末次町86  
 議会広報等特別委員会(松江市議会事務局)  
 電 話 (0852)55-5433  
 ファックス (0852)55-5533  
 議会事務局メールアドレス giji@city.matsue.lg.jp

ホームページアドレス  
<http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/top.html>

議会広報等特別委員会  
 畑尾 幸生

平成二十四年二月定例会は、少子高齢化が進む中、国保や介護の保険料で市民負担をお願いし子育て対策など、世代間の負担と給付は如何にあるべきか。将来のまちづくり市街地調整区域の線引き廃止の陳情等に對する判断など、課題が山積する市政にあつて、議会の責任を痛感した議会でした。

編 集 後 記